

< 巻頭言 >

わが国におけるライフコースを見据えた栄養の課題と解決にむけた方向性

石川みどり, 横山徹爾

国立保健医療科学院生涯健康研究部

Nutritional challenges and solutions based on life course perspective in Japan

Midori ISHIKAWA, Tetsuji YOKOYAMA

Department of Health Promotion, National Institute of Public Health

わが国における健康増進推進のために栄養・食生活は重要である。健康日本21第二次においても、複数の分野において達成目標のための項目に栄養・食生活の指標が挙げられている。

栄養・食生活との関連が深い生活習慣病（例：がん、循環器疾患、糖尿病、等）、また、ライフステージに特徴的な栄養課題（例えば、幼児期の偏食と齲歯、学童期の朝食欠食と体力、成人期の肥満、高血圧、高齢期の低栄養、等）があり、其々に栄養・食生活のエビデンス充実の重要性が報告され、研究が進められている。

一方、対策にあたっては、各ライフステージの特徴に応じた展開とともに、ライフコースを見据えた健康的な食習慣の形成のための取組みが重要となる。しかし、ライフコースを俯瞰した栄養・食生活の方向性についてレビューした報告はあまりみられない。

そこで、本特集号では、ライフコースを見据えた栄養の課題、解決にむけた方向性を示唆する調査研究、国・国際機関の指針等をレビューし、今後のわが国の健康増進推進における栄養・食生活の取組の方向性を考える基礎資料を得たい。